

民衆の声
ボイス

No.100

VOICEよこはま

http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com 公明党横浜市議員団 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 TEL.671-3023 FAX.681-2060

若者の“イイネ”が政治を動かす! 街頭で青年の声を聴く



公明党青年委員会は、桜木町駅前でアンケート運動「ボイスアクション(VA)」を展開しました。山口那津男代表とともに三浦のぶひろ党青年局長が参加し、道行く「未来のつくりて」である若者たちに呼び掛け、ボードに示された5つのビジョンから“イイネ”と思う項目にシールを貼ってもらいました。

ボイスアクションの5つのビジョン

- 1 命と暮らしの安心保障を全ての人に!
- 2 個人の幸福が感じられる経済成長や働き方に!
- 3 “ありのまま”が輝く多様な社会に!
- 4 “地球の未来”を守る日本に!
- 5 “あなた”の声が届く政治や行政に!



声が“カタチ”に

公明党が過去に行った3回のボイスアクションでは、1000万人を超える若者の声が寄せられ、各政策を着実に実現させる力になりました。幼児教育の無償化、携帯料金の削減や奨学金の返済支援、非正規雇用の待遇改善や不妊治療の保険適用など、数々の声を“カタチ”にしています。

ロシア非難決議

3月23日の定例会最終日には横浜市の総意として、「ロシアによるウクライナ侵攻を非難し、国際紛争における武力行使の根絶を求める決議」を、全会一致で採択。ロシアによる国際法・国連憲章への重大な違反、多くの民間人の犠牲について糾弾し、即時の攻撃停止と撤退を要求。政府に対して国際社会との連携と避難民受け入れの推進、全ての国連加盟国に対して国際紛争解決へ武力の行使を行わないよう要請しました。



本会議場で起立採決



市庁舎をウクライナカラーにライトアップ

山中市長に市政の課題を質問



市会運営委員会副委員長
こども青少年・教育委員会
健康づくりスポーツ推進特別委員会
神奈川県後期高齢者医療
広域連合議会議員
戸塚区選出
中島みつりの

私は3月18日、特別委員会総台審査で会派を代表し、14項目・34問にわたる質問を山中市長などに対し、行いました。その一部を報告します。

AIなど最新技術を活用

行政運営における最新技術の活用は極めて重要で、私が促進を加速させたい施策の一つ。市長は令和4年度を「歳出改革元年」と位置付け、事業廃止も含む、抜本的な見直しに着手する方針。厳しい財政状況を踏まえると必要性は認めますが、事業によっては、ドローン、AIなどの最新技術を活用することで、コストを下げながらも、既存事業と同等以上の効果を得ることが可能です。

例えば、取り壊しがされる旧市庁舎建物の記録保存のため、映像データの撮影・蓄積は欠かせません。その際、映像の最新技術であるドローンを活用すれば、最小の労力で最大の結果を得られます。また、ドローンは災害時に威力を発揮します。人の立ち入りが必要な現場や広範囲の被害状況を俯瞰して確認することができ、離着陸スペースも不要なため、きめ細かくスピーディーに活用ができます。

AIも同様。私はスライドを使って山中市長に、JR戸塚駅西口側で独自に行った「バスセンター交差点の交通量測定と分析結果、導いた改善策を示しました。

このように、AIなどのデジタル技術の活用が新たな価値の創造と職員の生産性向上に向けて有効との認識を伝え、さらなる導入を求めたところ、市長は「導入を検討する」と答えました。

このほか、年度末に策定予定の「横浜子ども貧困対策に関する計画」、国民の半数がかかるとも言われるアレルギー疾患の、市内の医療拠点病院である横浜市立みなと赤十字病院の責務についても質問。いずれも市長から市民目線の答弁が得られました。



質問に立つ中島議員

進化する中学校給食

25年以上の議論を経て

公明党が25年以上にわたって取り組んできた「中学校給食」が始まり、2年目に入ります。弁当と給食が選べる「選択制デリバリー型給食」は様々な意見の中、社会環境の変化に対応し、成長期の中学生の昼食を充実させるため、関係者の尽力とアンケートなど客観的な根拠に基づく議論の積み重ねの結果、実現したものです。



地元業者の弁当販売やスクールランチ方式のモデル実施、ハマ弁の全校実施を経て、昨年4月から開始された選択制「デリバリー型中学校給食」。横浜市教育委員会がメニューの改善や、注文時の利便性向上などに取り組み、現在の喫食率は20%を超えて推移。新年度予算では30%を見込むなど、利用者は着実に増えています。

新入生に給食利用を推奨する「さくらプログラム」も、今年度の86校から新年度は市内全145校へと拡大します。実際に食べて頂くことで質の高さを伝える機会となり、実施校では1年生の喫食率が40%近くを推移しています。さくらプログラムで多くの方にお試し頂きたいと思っています。

全庁挙げてプロモーション

2月の議会では昼食時間に関わる配膳体制の強化について質問し、改善する旨の答弁を得るなど、利用しやすい環境づくりに努めています。一方、注文を躊躇してしまうような情報もあることから、イメージの改善についても質問。山中市長からは「栄養バランスはもちろん、味も美味しく、充実した内容」「試食会やSNSによる広報など自身先頭に立ち、全庁を挙げてプロモーションを行う」との答弁がありました。現状では中学生全員分をまかなう供給能力はないため、体制整備も指摘。市長は「事業者と調整し、安全かつ安定した供給体制を確保する」と答えました。

今後さらに美味しく、充実した中学校給食の実現に取り組んで参ります。

市民相談

お気軽に何でも
ご相談下さい

横浜市議員(戸塚区選出)

中島みつりの

●ご意見・ご相談はお気軽に

TEL.045-410-6307 FAX.045-410-6308
(ホームページ) http://nakajima-mitsunori.com/

LINEの
お友達
募集中!



※公明党横浜市議員団を代表して一般質問(木内議員)、議案関連質疑(尾崎議員)が質問しました。

語れる公明党実績～令和4年度予算を巡る論戦より

防災・減災への備えをさらに強化

■浸水ハザードマップを全戸配布

- 風水害の激甚化に対応！
内水ハザードマップの時間降雨量を153mm想定に改訂
- 「内水」「洪水」「高潮」の各マップを1枚に
- 4年度に全戸配布が完了！



望月 康弘 (港北区選出)

神奈川、金沢、栄の3区で全戸配布された浸水ハザードマップの残り15区における配布時期について確認したところ、上半期までに全区で配布完了を目指すとの答弁がありました。あわせて、避難行動計画となるマタイムライン作成リーフレットも配布されます。

■学校体育館へエアコン設置

令和元年～3年度まで
エアコン・大型冷風機を61校に設置
令和4年▶エアコンを28校
大型冷風機を10校へ設置

■ブロック塀の改修促進へ

補助事業 **延長** 補助単価・上限額 **増額**
除却費用 13,000円/m←9,000円/m
生垣の設置 13,000円/m←3,000円/m
補助上限額 最大50万円←30万円

■消防団の充実強化へ

- 業務効率化へアプリ活用を試行
- 活動服・装備品の十分なストックと予算を確保



竹野内 猛 (金沢区選出)

消防団員の活動服・装備品が不足しているケースがあることから、十分な予算確保を要望。副市長から、一定数量のストックを確保し速やかな貸与に努めるとの答弁がありました。併せて、デジタル技術を活用した業務効率化の推進を求めました。



行政のデジタル化推進を着実に

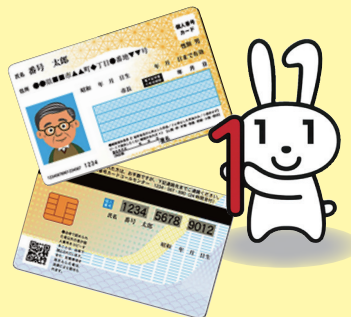
■マイナンバーカード普及促進へ

- 区役所の窓口を増設
マイナポイントの手続き支援も実施
- 申請サポート会場を設置
商業施設など市内14か所に増設
- 交付特設センターを増設
商横浜駅西口、センター北、上大岡に加え二俣川に新設



木内 秀一 (旭区選出)

マイナンバーカード交付促進のため、区役所の窓口増設や交付専用の特設センターを市内3か所に設置していましたが、新たに二俣川に増設して、さらなる交付体制の増強を図ります。



■デジタル区役所のモデル事業推進

デジタル技術を活用した広報手段に加えて、災害時を想定した取組についても検討すべきと質問。デジタル統括本部長より、「Wi-Fi環境を活用した災害時の情報伝達、市民の皆さまの避難を支援するアプリの活用など、災害を想定した取組を検討する」と答弁がありました。

■行政運営における最新技術の活用

市長が掲げる「歳出改革元年」に当たって、行政運営におけるAI等の最新技術を活用した見直しも検討していくべきと質問し、市長より「積極的に最新技術を活用し、新しい発想で事業手法を見直すとともに、データを用いて事業効果を見極め、選択と集中など、歳出改革に取り組む」と答弁がありました。



安西 英俊 (港南区選出)



中島 光徳 (戸塚区選出)

誰もが安心して暮らせる街へ

■バス路線へ乗継割引導入を提案



久保 和弘 (瀬谷区選出)

地域交通の更なる充実に向けて、複数のバス等の交通手段を乗り継ぐことを前提にし、運賃割引の仕組みを検討すべきと提案しました。都市整備局長は「バス路線の再編に伴う乗継拠点や、乗継割引の検討などを進める」と答弁しました。



■小児がん対策の推進



尾崎 太 (鶴見区選出)

治療後も含め、それぞれの成長に応じた対応が求められる、今後の小児がん対策を質問しました。医療局長は、小児科以外の診療科以外の診療科やクリニックとの連携も深め、治療中、治療後の心理的、社会的な課題について、関係局や外部機関とも連携し取り組むと答弁しました。



■「医療的ケア児」支援を拡充

- 福祉車両での通学支援 → 車両：7→20台
- 学校への訪問看護師派遣 → 対象：17→29人
- 肢体不自由特別支援学校への看護師配置 → 配置：30→35人



斉藤 伸一 (保土ヶ谷区選出)

医療的ケア児が安心して通学し、充実した学校生活を送れるようさらなる取組を要望。教育長より、成長段階に合わせたケアの提供や自立に向けた技術指導を行い、小児看護に対応した訪問看護事業所を増やし、希望する児童生徒に対応できるよう取り組んで行く旨の答弁がありました。

■子宮頸がん予防へ



福島 直子 (中区選出)

4月から子宮頸がんワクチン公費接種の積極勧奨が再開され、国が勧奨を控えていた期間に対象となった方(H9年4/2～H18年4/1生まれ)にも公費接種の通知を郵送します。同時に子宮頸がん検診を受診することも大変重要なため、受診率向上への取組を求めています。

教育環境をさらに充実、子育てを力強くサポート

■「放課後児童クラブ」支援を拡充

- 支援員等の給与を月額9,000円アップ
- 職員の事務や雑務に対する加算を新設
- 医療的ケア児のための看護師配置を支援

さらに
・事務を簡略化して保護者負担を軽減
・職員の確保・育成に関する支援を拡充

■児童虐待防止へ

- 「子ども家庭総合支援拠点」を全区設置！
- 4年度8区に設置して、全区配置が完了へ！
- 横浜東部方面に新たな児童相談所を設置へ！(市内5か所目)

■保育士の処遇を改善

- 新規** 全ての保育士の給与を月額9,000円アップ
- 継続** 経験年数7年目以上の方の給与を、月額4万円加算
- 採用10年目までの方に、家賃等(月額82,000円上限)を助成

■1,2歳児受入を強化 待機児童の解消へ！

- 1歳児枠拡大の定員構成見直しへ補助拡充
- 1,2歳児受入枠の拡大に加算をモデル実施
- 預かり保育への補助を拡充し、実施園を増設
- 施設改修費用の補助制度を新設

《保育園・幼稚園の受入枠も拡大》
保育所の新設、認可保育所への移行支援などで市内全域で新たに1290人分を確保します。